

【主担当部局：出納局】

めざす姿

会計事務の担当職員一人ひとりが法令や規則に基づいた適正な会計事務を行うとともに、県歳入金の収納方法が多様化し県民の皆さんの利便性が向上しています。また、財務会計制度を取り巻く動向を把握し的確に対応することにより、県の会計事務に対する県民の皆さんの信頼が高まっています。

平成 31 年度末での到達目標

会計事務担当職員が高い能力とコンプライアンス意識を持って適正で円滑な会計事務を行えるよう、会計支援が行われています。また、資金が適正に管理されるとともに、運用益が増加しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況
県の会計事務に是正・改善を求める監査意見数（実施1か所あたり）	1.44 件					1.00 件以下
目標項目の説明	監査委員が毎年度実施する定期監査結果の財務事務の執行に関し是正・改善を求める意見の総計（人件費に関する事務等への意見を除いた収入、支出誤り等に関する意見数）を監査実施箇所数で除した数値。なお、監査の結果において不適正・不正事案の指摘があった場合は、全庁への指摘とみなし、上記数値にその件数を加算する。					
28 年度目標値の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
40401 会計事務の支援（出納局）	出納局が行う会計支援の有益度	90.2%					95.0%
40402 資金の適正な管理運用（出納局）	債券による基金運用益の増加率	100					200

現状と課題

- ① 所属からの会計相談が10月末現在で4,778件あり、本庁、地域機関の所属に対する事前検査・事後検査、職場訪問の実施、参加者延べ1,626人にのぼる各種研修を実施するなど、各所属の出納員・会計職員を日常的にサポートしています。また、各部局の業務改善を支援するため、委託業務の設計・積算で庁内の参考となる優良事例を類型化し共有化を図るなどノウハウの蓄積と活用を進めています。
- ② 「みえ物品利活用方針」に基づく遊休物品については、平成27年度中にすべての処理を完了させるため、関係所属における取組の進行管理を行っています。また、引き続き適切な物品の取得、管理、利活用、処分取組を進めるため、全庁の物品の調査と当方針の見直し検討を進めています。
- ③ 資金の適正な管理を行うとともに、三重県資金運用方針に基づき、元本の安全性の確保と流動性の確保の原則のもと、債券による長期の運用を拡大し、運用益の増加を図っています。
- ④ 財務会計システムおよび電子調達システム(物件等)について、安定稼働と円滑な運用を行っています。

平成28年度取組方向

- ① 会計事務に関する相談、検査、各種研修の実施や検査後のフォローアップなど、よりきめ細かい会計支援を通じて、会計事務担当者等の能力向上およびコンプライアンスの日常化を行うとともに、各所属における会計事務の円滑な執行と業務改善を積極的に支援します。
- ② 「みえ物品利活用方針」の見直し検討をもとに、当方針に沿った物品の取得、管理、利活用、処分取組を進めます。
- ③ 資金の適正な管理を行うとともに、流動性を確保しつつ安全かつ効率的に、債券による長期の運用を拡大し、運用益の増加を図ります。
- ④ 財務会計システムの安定稼働と効率的な運用を行うとともに、次期システムにおいて必要とされるシステムの再構築等について検討します。

主な事業

- ① 会計支援事業【基本事業名：40401 会計事務の支援】
予算額：(27) 38,233千円 → (28) 37,871千円
事業概要：各所属で処理する会計事務が適正に行われるよう、検査、相談、研修などの会計支援を行います。
- ② 出納管理事業【基本事業名：40402 資金の適正な管理運用】
予算額：(27) 101,781千円 → (28) 103,271千円
事業概要：公金収納の効率的な執行のために収入証紙に関する事務を行うなど、資金の収入及び支出並びに管理を適正に行います。
- ③ 財務会計管理事業【基本事業名：40402 資金の適正な管理運用】
予算額：(27) 91,955千円 → (28) 99,511千円
事業概要：会計事務の執行を支援するため、財務会計システムの安定稼働と円滑な運用を行うとともに、次期システムの再構築等について検討します。